

天正十一年丁酉十二月廿五日

丹生家文書

永代高流江の秋深候に作す

合一

朱の意に地を築うる方なれども  
地を居れども火の島に主行に  
此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

此の島に用とありけり朱の石に高流

天正十一年丁酉十二月廿五日

丹生家文書

